



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.23
(通巻182号)
平成31年(2019)
3月5日(火)

《保護者会資料》

『学校評価アンケート』結果報告

校長 飯野 博史

いよいよ春本番となりました。音楽室からは「旅立ちの日」が聞こえてきます。20日(水)の卒業式、25日(月)の修了式に向けて、学級、学年、学校が一つにまとまるように指導していきます。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

昨年11月に生徒、保護者、地域の方、教職員を対象とした「学校評価アンケート」を実施しました。保護者の方から225通の回答をいただきました。これは全家庭数の約98%にあたります。(昨年度は約95%)たくさんのご協力ありがとうございました。回答数の多さから保護者の方々の学校に対する関心の高さや期待を感じ、身の引き締まる思いがします。厳しいご意見もいただきましたが、真摯に受け止め、これからの学校運営に生かしてまいります。集計結果をもとに、地域代表の方からなる「学校評議員会(学校評価委員会を兼ねる)」を開催し、ご意見をいただきました。資料を添付いたしましたのでご覧ください。

(添付した資料は学校ホームページにも掲載します。)

保護者の方からのご意見を一部紹介します。

【学校全体について】

・いつも感心するのが、校内に入って出会う生徒誰もが、爽やかに挨拶してくれることです。こちらが挨拶するよりも先に、しっかり相手の顔を見て挨拶してくれる態度に、穏やかな心で学校生活を送っていることが感じられます。・運動会や学習発表会を見て、全体的に落ち着いた学校の空気の中で子どもたちがそれぞれ頑張っている充実した日々を送っているのではないかと思います。

【教育目標について】

・適切な目標だと思います。とくに「考えて行う」は、現在の子供に不足しがちな部分なので、ぜひ重点的に指導していただきたいです。・目標のように、自分で考えて、学んだり、自分を律する人になってほしい。・中学生で培ってほしい事柄なので家庭でも目標にしたいと思っています。

【心の教育について】

・性教育への取組や道徳授業での話し合いはとてもよい。・「道徳授業地区公開講座」の講話については、保護者の方の参加が少なかった。もっと保護者が聞きに来られる工夫がされていると良いのでは？難しいとは思いますが。・テレビで痛ましい「いじめ」のニュースを食卓で見たとき、「かわいそう」「いじめなんてひどい」と子供が言っていた。道徳の指導を通じて、命の大切さ、思いやりの心が育っていることを日常の中で感じ取れることが多い。・いじめの事実があると耳にしました。学校側も認識しているとのことですが、改善されていない様子です。学業も大事ですが、心の教育について、家庭と学校でももっと必要と思います。

【学習指導について】

・英語の少人数授業はとても良い。日本語を全く使わず、発言する機会を増やし、頭の中だけでなく自然に英語が使えるようになっていくと良い。・公開授業を参観し、楽しいと感じる授業もありましたが、正直つまらないと思う授業もありました。英語や数学など少人

数授業で教え方がずいぶん違っていたりすると、クラス毎に理解に差が出てしまうように感じます。・テストの平均点が低いことについて学校側の改善策が明確ではないので少し不安に思います。「勉強時間をしっかりとろう」以外にももう少し補習や宿題等、平均点を上げる具体案が必要なのではないかと思います。

【体育・健康教育について】

・体力向上につながる様々な取組（区連体、運動会、校内駅伝など）があり、また保健日よりなどで日々を見直す機会もあり、日常的に様々な機会を設けていただき感謝しています。・小学校ではなかった柔道が楽しみです。初めてですが、礼儀や精神を学んでほしいです。・小学校より校庭が広いお蔭か、体を動かす機会が増えたように思います。・パワーが余っているようなのもっと発散できると良いと思います。水泳の期間（回数）が小学校より多いのは良いと思います。・先日性の教育に関する外部講師による講演会は大変良かった。同じテーマで親子で話し合えれば一番良いことは分かっているが、とても難しくてできなかった。ぜひ子どもたちにも同じ講演を聞く機会をつくってほしい。

【特別活動について】

・運動会や合唱コンクールの取組の中、生徒たちの絆がしっかりと深まっていることを感じます。・部活動顧問の負担が大きく、外部コーチなど負担軽減する方法がないのか、心配しています。・運動会や学習発表会はとても良い。学校の色が見える。部活動も盛んで良い。顧問の先生の人数のバランスは改善すべき。先生が過重労働過ぎる。子どもたちは一生懸命取り組んでいるので、活動日を減らすのではなく、先生を増やしてほしい。

【学校生活全般について】

・八中生は大人しい。入学前から同じ印象ですが、もう少し覇気がある元気な子を伸ばすような働きかけがあってもよいかなと思います。授業中の静けさが気になります。・バッグの荷物が重く、通学の際、体にこたえるようです。ここまで重いと健康にも悪いのでは？と思うことがあります。当日の夜に家庭で使わない本は教室に置かせていただきたいです。・それぞれの得意分野をもつ生徒がそれぞれ活躍でき、認め合う雰囲気があるのが良いと思う。靴、リュック、水筒など、生徒の自主性と自由に任せてくださっているのが良い。

【情報の発信、家庭・地域との連携について】

・学校だより、学年だよりなど、いつもタイムリーにお便りをいただき、日々の様子がよく分かります。お祭りの生活指導などでも、先生方の生徒たちへの愛情が感じられ、地域との連携もよく図られていると思いました。・地域でのお祭りや催しでは学校や家庭でも話題を共有し、学校を含めた地域行事になっていてとても良い傾向だと感じています。校長先生や先生方もお休みにもかかわらず参加してくださり、本当に頭が下がります。・中学生になり、おたより等が親の手元に届かないこともあるので、メールでお知らせがあり助かっています。

【特色ある教育活動について】

・朝の読書はとても成果があると思います。読書の習慣があまりなかったのですが、これをきっかけに前より読書をするようになりました。家族で本についての話題で盛り上がっています。・E組との交流は給食などにとどまらず、もう一歩踏み込んで多様性への理解が深まるものであってほしい。・各種検定は半ば“強制”の位置付けにして、学校で受験できる方向にもって行ってほしい。・学習発表会のE組の発表をいつも楽しみにしています。真摯にチャレンジしている様子は全校にいい影響を与えていると思います。後期の駅伝は派手さはないが、良い行事だと思います。

◎「3. 11を忘れない」講演会

八中では毎年「3. 11を忘れない」講演会を行っています。今年度は東日本大震災を現地で体験した阿部惟夏教諭が生徒たちにお話をします。保護者の皆様もお時間がありましたらぜひお出でください。

3月11日（月） 朝8時30分 本校体育館 最初に黙祷を行います。